

スマートシティNAGANO 基本計画について

令和8年2月12日

NAGANOスマートシティコミッション事務局
(長野市イノベーション推進課)



1 背景・目的

- ・人口減少・少子高齢社会の到来による**労働力不足、インフラの老朽化、激甚化する災害**対応など**地域課題が深刻化**
 - ・コロナ禍を経て、人々の生活が**デジタル技術を活用したライフスタイルへ変化**
- ➡ デジタル技術等を活用することで分野横断的な**地域課題**を効率的に**解決**し、**市民生活の質の向上**を同時に実現することを目的とする必要があることから、スマートシティ※計画の策定に着手

2 経過

令和3年2月「スマートシティNAGANO宣言」表明
令和4年4月「スマートシティNAGANO基本計画」策定

スマートシティNAGANO基本計画は、この宣言をスタートラインに、市民の皆様と共に「スマートシティNAGANO～市民と創る最高のまちづくり～」に取り組むために策定されました。



▲スマートシティ宣言



▲スマートシティ基本計画

3 計画の期間

令和4年4月1日（令和4年度）～令和9年3月31日（令和8年度） 5年間
※ただし、ビジョン及びKGI（重要目的達成指標）は令和12年を目標とする

※スマートシティとは：デジタル技術を活用して都市のインフラやサービスを最適化し、都市が抱える課題（交通、エネルギー、高齢化など）を解決しながら、住民の生活の質の向上と持続可能な社会を実現する取組

4 ビジョン、KGI

ビジョン：2030年、サーキュラーシティ※、NAGANOになる

KGI：①NASC発の新産業の時価総額 **1,000億円**以上

②内閣府による満足度・生活の質に関する調査 長野市民の回答平均 **8.0点**以上

5 重点テーマ
(領域)

ビジョンの実現に向け、優先的に取り組むべき重点テーマ（領域）として、まちづくりアンケートなどの住民ニーズや市の各施策、社会情勢等を総合的に勘案し、5つの重点テーマを設定しました。

・防災・減災 ・ゼロカーボン ・モビリティ ・フードテック ・ヘルステック



6 ロード
マップ

STEP 1 令和3年度～令和4年度 ビジョン・基本計画の策定

STEP 2 令和5年度～令和6年度 実証プロジェクトの本格化

STEP 3 令和7年度～令和8年度 実証プロジェクトの社会実装

STEP 4 令和9年度～ 新産業創造に向けたプロジェクトの継続的な推進

※サーキュラーシティとは：サーキュラーエコノミー(循環型経済)の概念を都市計画に取り入れ、資源を循環させ、環境・経済・社会のすべてに良い影響を生み出すことを目指す「循環するまちづくり」のこと。本基本計画では、カネ・モノ・コト・ヒトの4つの循環がつながる好循環により新産業を創造している。

1 組織概要

NASCは、**スマートシティNAGANO基本計画の推進主体**として、長野市、長野商工会議所、信州大学工学部及び株式会社八十二長野銀行を発起人として、産学官金連携の下、令和3年10月5日に設立しました。

2 設立趣旨

デジタル技術等を活用し、産官学金の協働による地域課題の解決、新たなプロジェクトの組成等を通じて新産業創造及び安全・安心・快適な上質の暮らしで幸せを実感できる「スマートシティNAGANO」を実現すること。

3 会員状況

役員【会長】 長野市長 荻原 健司
 【副会長】 長野商工会議所会頭 水野 雅義、信州大学工学副学部長 千田 有一
 【監事】 八十二銀行取締役専務執行役員 中村 誠 (敬称略)

会員 239団体 (令和7年12月1日時点) 企業・団体214／学術機関5／官公庁等6／金融機関14
 ※長野市内 159団体／長野市外 80団体
 オブザーバー：総務省信越総合通信局、経済産業省関東経済産業局、長野県
 事務局 長野市経済産業振興部イノベーション推進課

4 主な取組

- ・ **実証事業**：新産業創出に向けたビジネスモデルの磨き上げと実地検証 補助額1,000万円(補助率2/3)
- ・ **ワーキンググループ**：オープンイノベーションによる事業開発と企業間ネットワーク構築支援
- ・ **各種イベント**：スマートシティや新産業創出に向けた取組の機運醸成を図るイベントを開催

1 取組成果

- 令和4年から実施してきた**実証事業**への補助事業や、**WG活動**、**イベント開催**等の取組・成果
- ・創出された実証事業数：7
⇒ 今後、社会実装が期待できるプロジェクトが立ち上がり始めている（潜在している）。
 - ・WGで検討された事業数：31
⇒ WGや実証事業を契機に、アライアンス(複数企業の共同)が進み、プロジェクトが継続している。
 - ・共創の場への参加者数：719
⇒ 企業間のネットワークが構築されてきている。 ⇒ 気運が醸成されてきている。

2 社会情勢

- ・近年、経済団体等による地域イノベーションの活動が生まれてきていることや**第2期スタートアップエコシステム拠点都市**の選定、加えて**生成AI**などの**急速な進展・普及**など、スマートシティ施策を取り巻く環境が大きく変化してきている。
- ・スマートシティの核となるデータ連携基盤（ビッグデータの活用等）については、県が担当しており基盤の構築には時間を要する。
- ・長野商工会議所の経営者イノベーション塾や信州産学みらい共創会、長野県立大等、他団体による類似した**新たな取組が増えてきている**。
⇒ 計画策定時から社会情勢が変化

○これまでの取組による**成果や社会情勢の変化を踏まえ**、スマートシティNAGANO基本計画は**一定の役割を果たした**。

（KGIや課題等の検証は、令和8年度に実施予定）

○**総合計画及び個別計画の改定時期**となっていること。

⇒ **次期計画の策定は行わない方針**



計画の位置付け（全体像）

1 計画の位置付け
（イメージ図）

